

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動学実習 (リハビリテーション学科理学療法学コース中心)		(リ) 必修 (人) 選択	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石井 智也 他	D312	tomoya.ishii	火曜日 11:00~12:00		
授業の目的・概要	本授業では、運動学 I・II で学んだ身体運動に関する基本知識を土台として、グループワークやプレゼンテーションを通じて、臨床現場において患者の運動機能を評価・分析するための基礎となる生体の仕組みを理解することを目的とする。測定データの解析方法と評価の流れを学び、身体運動学の知識を深め、論理的思考能力を養うと共に、学んだ知識を理学療法の実践に応用する手法を修得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	講義では、臨床現場で使用する様々な機器を実際に使用し、測定を行う。運動学 I・II で学習した内容を復習しておくことが望ましい。				
教科書	・基礎運動学 第7版/原著：中村隆一・齋藤宏・長崎浩/医歯薬出版/2025 ・運動学実習 15 レクチャーシリーズ理学療法・作業療法テキスト/編：小島悟・小林麻衣/中山書店/2016				
参考書					
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	生体の運動学的・生理学的反応に関する知識を深め、説明できる。		HSU(2)、RH(2)		
②	実習を通じて運動学的計測手法について理解する。		HSU(2)、RH(2)		
③	実習結果を運動学的に分析し、身体運動・動作の特徴や仕組みを理解する。		HSU(2)、RH(2)		
④	実習結果をまとめることができる。		HSU(2)、(5)、RH(2)、(6)		
⑤	実習結果をグループワークにてまとめ、自分の言葉で発表することができる。		HSU(2)、(5)、RH(2)、(4)、(6)		
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	運動学実習の総論について学ぶ。		[担当] 石井	講義、実習	0
2	①筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。		[担当] 石井	講義、実習	0
3	①筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習し、成果をまとめる。		[担当] 石井	PBL、グループワーク	0
4	①筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習し、成果をまとめる。		[担当] 石井	PBL、グループワーク	0
5	②筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。		[担当] 石井	講義、実習	0
6	②筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。		[担当] 石井	講義、実習	0
7	②筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習し、成果をまとめる。		[担当] 石井	PBL、グループワーク	0
8	②筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習し、成果をまとめる。		[担当] 石井	PBL、グループワーク	0
9	③呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。		[担当] 石井	講義、実習	0
10	③呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。		[担当] 石井	講義、実習	0
11	③呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習し、成果をまとめる。		[担当] 石井	PBL、グループワーク	0
12	③呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習し、成果をまとめる。		[担当] 石井	PBL、グループワーク	0
13	④安静立位姿勢の評価、重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。		[担当] 関根、石井	講義、実習	0
14	④安静立位姿勢の評価、重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。		[担当] 関根、石井	講義、実習	0
15	④安静立位姿勢の評価、重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習し、成果をまとめる。		[担当] 関根、石井	PBL、グループワーク	0

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

16	④安静立位姿勢の評価、重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習し、成果をまとめる。	[担当] 関根、石井	PBL、グループワーク		0		
17	⑤バランス反応の評価、歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、姿勢制御と正常歩行を理解する。	[担当] 石井	講義、実習		0		
18	⑤バランス反応の評価、歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、姿勢制御と正常歩行を理解する。	[担当] 石井	講義、実習		0		
19	⑤バランス反応の評価、歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、姿勢制御と正常歩行を理解し、成果をまとめる。	[担当] 石井	PBL、グループワーク		0		
20	⑤バランス反応の評価、歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、姿勢制御と正常歩行を理解し、成果をまとめる。	[担当] 石井	PBL、グループワーク		0		
21	実習課題①-⑤の成果発表会を行う。	[担当] 石井、関根	プレゼンテーション		0		
22	実習課題①-⑤の成果発表会を行う。	[担当] 石井、関根	プレゼンテーション		0		
23	総括	[担当] 石井	講義		0		
試	定期試験						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	30	20	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	30	5	5	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	10	5	0	0	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	5	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	10	5	0	0	15
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	筆記による定期試験（記述式、穴埋め式、選択式など）を実施して評価する（50%）。				必要に応じて試験の添削、開示を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	各講義でレポートを課す。提出されたレポートを採点し、成績に反映する（30%）。レポートは必要に応じて再提出してもらうことがある。レポート内容、採点基準は講義時に提示する。				必要に応じて解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	各実習における課題①-⑤について発表準備を行い、グループごとにスライド発表を行う。発表された内容を採点し、成績に反映する（20%）。採点基準は講義時に提示する。				必要に応じてフィードバック、解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

		評価のポイント		フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	関根 聡美			
教員の実務経験	全ての教員が理学療法士として5年以上の臨床経験を有する。			
実践的授業の内容	ヒトの生体の仕組みの基礎を理解するとともに、臨床現場において必要な運動機能評価を実践できるように説明する。			
そ の 他	<p>実技授業：</p> <ul style="list-style-type: none"> 必ず測定がしやすい服装で受講し、パソコンを持参すること。 <p>授業時のフィードバック、意見交換：</p> <ul style="list-style-type: none"> フィードバックは授業時間内で実施する。 意見交換の機会は授業時間内およびオフィスアワー内に実施する。 <p>注意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生は退室してもらう。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は対面授業の参加は認めない。 シラバスの内容は今後の新型コロナウイルス感染症の状況と、授業の進行状況等を考慮して一部修正することがある。 講義回の入れ替えなど変更する場合がありますので、授業内または Teams の連絡に注意すること。 学生の理解度などに応じて授業計画を変更することがある。 			